

人權作品集

第24集

豐中市人權教育推進委員協議会
豐中市教育委員会

はじめに

豊中市人権教育推進委員協議会は昭和四十五年（一九七〇年）の発足以来、市民の皆様と共に地道ながら「人権草の根」運動を積み重ねてまいりました。

人権意識の高揚をはかるため、その啓発活動の一環として、昭和四十七年（一九七二年）以来、隔年ごとに市民の方々に「人権に関する作品」の募集を呼びかけてまいりました。

今回も、今年度ご応募いただきました、一二・四点の作品の中から一・四・六点を選び『人権作品集（第二十四集）』を作成しました。

収録させていただきました作品は、人権の大切さを訴え、人間として幸せに生きる権利と願いが込められ、差別のない明るい町づくりをめざす力強さに溢れております。

この人権作品集が家庭や地域社会、学校などにおける人権啓発活動を進めるためにご活用いただければと願っています。

末筆ながら「人権に関する作品」にご応募いただきました多くの皆様方に厚くお礼申しあげます。

平成三十一年（二〇一九年）三月

豊中市人権教育推進委員協議会

もくじ

・ポスター（絵画）
.....
3

・標語
.....
11

・詩
.....
19

・作文
.....
27



北条小学校



豊島西小学校



豊島西小学校



南桜塚小学校



中豊島小学校



刀根山小学校



寺内小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



刀根山小学校



第五中学校



第五中学校



第六中学校



第六中学校



第六中学校



第六中学校



第六中学校



第六中学校



第六中学校



第六中学校

あいさつは 心がかがやく まほうだよ

北条小学校

なぜいけないの？一人、一人ちがうのに

北条小学校

子どもでも 言いたいことは いっぱいある

桜井谷小学校

消しゴムで 消えない一言 やめようね

桜井谷小学校

なやみごと 話してみれば 大丈夫

桜井谷小学校

戦争は 尊い命 なくすもの

桜井谷小学校

認め合う 一人ひとりの 大事な個性

桜井谷小学校

ありがとう 人をやさしくする言葉

桜井谷小学校

ママたのむ 悪い子じゃないこと みとめてよ

桜井谷小学校

きらいでも いじめはいけない ぜったいに

桜井谷小学校

やめようよ 笑顔が消える その言葉

桜井谷小学校

いやがらず しつかり相手を 理解する

桜井谷小学校

知らんぷり それでいいのか おれの正義

桜井谷小学校

聞いてみて 心の声を

桜井谷小学校

何食べよう？ 何を着よう？と 選べる幸せ

桜井谷小学校

世界での 共通語は 笑顔だよ

桜井谷小学校

誰だって みんな大事な 命だよ

桜井谷小学校

悩み事 だれかに相談 助け合う

桜井谷小学校

その書き込み 相手の気持ち 考えて

桜井谷小学校

お年寄り やさしい存在 知恵袋

桜井谷小学校

自分より 相手のしあわせ 考えよう

桜井谷小学校

お互いに 知り合うことが 第一歩

桜井谷小学校

助けあい 明るくしよう このクラス

桜井谷小学校

車いす みんなが押してくれると うれしいな

桜井谷小学校

泣かないで 君の近くに ぼくがいる

桜井谷小学校

笑顔よぶ みんなが主役の 世の中に

桜井谷小学校

見てないで 助けてあげよう そのときに

桜井谷小学校

泣いている 一歩の勇気で いい気持ち

桜井谷小学校

責めるより 許す心と 思いやり

中豊島小学校

友だちと ちがっていい 私らしさ

桜井谷小学校

子どもたち 未来を持つてる たからもの

桜井谷小学校

こんにちは ありがとう！はずかしがらず 声かけよう

桜井谷小学校

ぼう観者 知らぬうちに 共犯者

桜井谷小学校

あいさつは 心と心が 通じ合う

桜井谷小学校

その言葉 きつと誰かに 届いてる

桜井谷小学校

被災時に 大切なのは 助け合い

桜井谷小学校

あいさつは 心を開く 内扉

桜井谷小学校

思いやり ぼくから 始まる 平和な世界

桜井谷小学校

お年寄り それは地域の 宝物

桜井谷小学校

嫌でもね 言えない人も いるんだよ

桜井谷小学校

兄弟は けんかも多いが なかよしだ

桜井谷小学校

声かけて 励ましあおう クラスの輪

桜井谷小学校

勇気だし じっくりみようよ その気持ち

桜井谷小学校

SNS ほんとにいいの その写真

桜井谷小学校

そのいじめ やったら だれのとくになる

桜井谷小学校

ありがとう 笑顔になれる 合言葉

桜井谷小学校

みんな持つ それぞれの色 大切に

桜井谷小学校

「大丈夫！」 その一言で 元気でる

桜井谷小学校

考えて 自分がされて いやなこと

桜井谷小学校

いじめはね 相手も自分も 傷つける

桜井谷小学校

考えて 命の重さは 同じだよ

桜井谷小学校

鏡の中 ぼくは見つめる 自分の心

桜井谷小学校

ごめんねと あやまれる君 すてきだよ

桜井谷小学校

軽はずみ その一言で きずつける

第二中学校

いじめはね 遊びじゃないよ 犯罪だ

第二中学校

出会ったら 人より先に こんにちは

第二中学校

変わりたい みるだけの 自分から

第二中学校

それあかん 言える勇気が 思いやり

第二中学校

いじめとは 見て見ぬふりも 共犯です

第二中学校

きみはどう？見て見ぬふりは していない？

第二中学校

いじめはね 一つの勇気で 止められる

第二中学校

笑おうよ 苦しい時こそ 笑顔だよ 笑顔があれば みんなひとつ

第五中学校

勇気だし 最初の言葉 かけてみよう

第二中学校

戦争を 二度とおこさない するために 未来の人へ 伝えていこう

第五中学校

おばあちゃん この席どうぞ 言えた僕

第二中学校

お互いの いいところ見つけて 認めあおう

第一中学校

気づこうよ 意外と身近な SOS

第二中学校

あのメール 文字は消えても 傷は消えない

第二中学校

やめようよ その一言で 救えるよ

第二中学校

ごめんねと 一言伝える 勇気だそう

第二中学校

いじめの芽 つんで守ろう 笑顔の花

第二中学校

いのちとは 親からもらった おくりもの

第二中学校

ありがとう おくる言葉が ひびき合う

第二中学校

変えようよ 言葉ではなく 行動を

第二中学校

あいさつで つくろう地域の 笑顔の輪

第二中学校

ありがとう 感謝の気持ち 声にして

第二中学校

ありがとう 感謝を言葉で 伝えよう

第二中学校

それ本当？ いじってるだけそれ本当？

第二中学校

思いやり 相手が誰でも 大切に

第二中学校

いじめはね 自分も相手も 傷つける

第二中学校

「やめようよ」 勇気を出して 言ってみる

第二中学校

見てはるで！ あなたの虐待 町の目が！

第二中学校

考えて その一言を 言う前に

第二中学校

あいさつは 心を結ぶ 架け橋だ

第二中学校

いつだって 一人じゃないから 大丈夫

第二中学校

なくそうよ 差別偏見 無関心

一般

なにげない 言葉で人は 傷つくよ

第二中学校

言ってみて みんなの心に 届くはず

第二中学校

さしだした 手のひらの上に 花が咲く

第二中学校

ありがとう 生きてるだけで 感謝だね

第二中学校



詩

はなび

東豊台小学校

ばーんばーん はなびのおとがうるさくて
でも はなびはとつてもきれいです

ばーんばーん はなびのおとがおおきくて
でも もっと ちかくでみたいから
とうちゃんに かたぐるましてもらったよ

ばーんばーん はなびがぜーんぶおわたたら
まんまるおつきさま おそらにひとつ

のこったよ

おねえちゃん

緑地小学校

おもしろいおねえちゃん

やさしいおねえちゃん

おこるとめちゃこわいおねえちゃん

なくおねえちゃん

ねるおねえちゃん

おねえちゃんだいすき

じいさま

緑地小学校

たのしいじいさま

おもしろいじいさま

すげーおいしいたまごつくるじいさま

あそぶじいさま

おこるじいさま

しんけんなじいさま

だいすきじいさま

妹

緑地小学校

ぼくの妹

妹はぼくの

ことがすき

ぼくも妹が

すき

ときどき

妹とけんか

するけど

やっぱり大すき

ぼくは妹が

いてとても

しあわせ

たいせつな家ぞく

緑地小学校

人びと

緑地小学校

楽しんだり

かなしんだり

いっしょにあそんだり

いっしょにりょこうにいたり

楽しい家ぞく

へいわな家ぞく

やさしい家ぞく

元気な家ぞく

なかよしな家ぞく

やっぱりたいせつな家ぞく

人は、どこにでもいる。

わらう人、

あそぶ人、

しごとに行く人、

かなしくてかなしくてないてしまう人。

はしる人

およぐ人

新聞をかく人

ものをつくる人

えを書く人

人、人、人、

せかいには、いろんな人がいる。

友だち

たいせつな 友だち

わらったり

ないたり

あそんだり

けんかしたり

いろいろな 友だち

たのしかったり

かなしかったり

くやしかったり

するけれど

また、あそべる

けんかしても

すぐに なかなおりにできる

それが 友だち

緑地小学校

ともだち

ともだち すき

あそぶと うれしい

あえると うれしい

ともだち

だいすき

緑地小学校

家ぞく

緑地小学校

おこられるとき

ちゅういされるとき

ほめられるとき

だっこされるとき

ごはんがおいしいとき

やさしいとき

いろんなときがあるけど

やっぱり家ぞくがだいすき

かぞくはたいせつ

緑地小学校

かぞくはたいせつ

お母さんはすぐおこっちゃう

けれどとても字がきれい

お父さんは

はずかしがりや

だけどとてもやさしい

おとうとは

すぐけんかしてしまう

でもかわいくとてもやさしい

かぞくは たいせつ

わたしは うまれてよかったな

かぞくは たいせつ

いのち

緑地小学校

いのちってなあに

たいせつな人

いのちってなあに

かぞくたち

いのちってなあに

すきな人

いきるっていいね

いのちがあつてよかった

やさしさ

東豊台小学校

人には人のやさしさがあり
人には人の 感じ方がある

やさしさだと思つてやったことも
あいてはいやかも

やつてほしいことも
やつてはくれないかも

でも わたしは おこつていいと思う
ときにはけんかして 泣いてもいい
たとえ 友だちでも

友だちにいえないのは おかしいのでは？
だって ほんねをいえるのが
友だちだから

人には人のやさしさがあり
人には人の感じ方

そして おたがい 助け合つて生きてゆく

「個性」

北条小学校

みんな同じ人間なのにどうして

きずつけあうのだろう

いじめる者は強いのだろうか

いじめる者は弱いのだろうか

強いのであれば

弱い者を守る強さにすればいい

弱いのであればだれかにすくいを求めればいい

きずついてる人も声をあげよう

一人一人大事な個性

手を取りあって

ささえあっていこう

平和にありがとう

第五中学校

おとうさん ありがとう

おかあさん ありがとう

おじいちゃん ありがとう

おばあちゃん ありがとう

うし ありがとう

ぶた ありがとう

とり ありがとう

へいわなかぞく

へいわながっこう

へいわなたいよう

人間は助け合って生きている

平和にありがとう

平和って？

人の命をうばってなにになる

それは本当にあなたが

望んでいること？

自然をうばってなにになる

それは本当にあなたにとって

必要なこと？

それは

無意味なことじゃないのか

平和ってどんなの。

いじめがなくなることかな。

ミサイルがなくなることかな。

友達と仲良くするところかな。

家族と食たくをかこむところかな。

世界の人々が涙一粒流さず笑顔で

すごすところかな。

このようなことがいつかかなうかは

わからないが、奇跡を信じ

私は今を精一杯生きて行く

入れ歯のパソコンのやさしさ

東豊台小学校

わたしは、『入れ歯のパソコン ぜったいぜつめい』という本を読みました。読んだきつかけは、入れ歯が顔になっているひょう紙を見て、おもしろそうだなと思ったからです。

この本で一番心にのこっている場面は、パソコンという入れ歯をつけていたおじいちゃんが、がんなので、何日も前からごはんが食べられなくなり、点できでえいようをとって、ずっとねたじようたいだったのが、歌手の歌うリズムに合わせて手をたたいていた場面です。

おじいちゃんの人に、おうしんに来ていた先生や家ぞくたちが、おじいちゃんのすきな歌を聞かせてあげたことが、おじいちゃんにとつうれしかつたと思います。

次の日に、おじいちゃんはしんでしまつたけれど、しぬ前に楽しい気持ちになれたからよかつたと思います。そして、やき場でやかれるのはいやだと前にいつていた入れ歯のパソコンが、おじいちゃんの口の中に入つて、おほかでおじいちゃんが一人ぼっちにならないように、「おれさま、じいちゃんとやかれてやるよー」と言つて、いっしょにやき場に行つてあげたから、おじいちゃんは、一人じゃなくて、うれしかつたと思います。

わたしは、この話を読んで、しんでいく家ぞくにたいしても、やさしさや、どうしてあげたらうれしかを考へてあげること大切だと思ひました。

東豊台小学校

「優しさって何？ 思いやりって何？」考えた。改まつて考へると意外に思ひつかない。

幼い時なら何でも言へた。

「私と仲よくしてくれること。自分のことより私のことを考へて行動してくれること。」でも、十年間生きていると、色々経験して幼い時に考へていたことになつとくいかない。

今の私の考へは、私と仲よく優しく接してくれるだけでは、何も優しくないと思う。仲よく優しくしてくれるなんてあたりまえだ。そんなことは、その人のためにならないから。その人にきらわれてもいいから、きびしくしかれる人の方が、本当の優しさだと思ひう。

みんなに好かれたいのは分かるけど、心を鬼にしてびようどうにしかれる。このことは、本当に勇氣があると思ひう。でも、勇氣を出して言つた方がよい。このことを考へさせてくれたのは、一年生から五年生まで、色々な人や先生に出会つたから。ある日、私が初めてしかられた。

「何なの？ ウザイ。」

そう思つたけど、今考へると、自分の悪い所を言つてくれたのだと分かつた。あの時は、ただ自分の悪い所をみとめたくなくて、先生に八つあたりしてただけだと分かつた。あと、自分のことしか考へていない人や、自分のことなんかより、ほかの人のことばかり考へている人。マイペースな人。その人たちみんな思いやりの考へ方はちがうと思つた。私の思いやりへの考へ方は、だれかにほめられたくてむりやりやっているのではなく、「だれかの笑顔を見たいから」、「だれかが喜んでくれるから」と言ひ思ひが、私の思いやりに対する考へ方。この二つのことを考へて、私の心は、また発たつして大人に一步近づいた気がする。今と昔では考へ方がちがうと言ひことが、今回、分かつた。これから、今日分かつた優しさと思ひやりの心を頭に入れて、みんなびようどうに、毎日笑顔で楽しくすごせたらよいと思ひう。

「障害者の気持ち」

北条小学校

私は、障害者の気持ちについて考えてみました。いじめをしている人は、障害者の気持ちが分からないと思います。障害者は、いじめている人にさからえなく、こまっっているとします。私は、障害者は、「いじめられているんです、私」と、言う勇気がないので、いじめをされなくなるということがむずかしいんじゃないかと思いました。それではどうすれば、障害者は、いじめられなくなるのか私は思いました。私が思ったのは、私たちが、助けてあげれば良いと思いましたが。そのために、一人一人が見ぬふりをしなければ、勇気を持って良いと思います。年上の方にだって私は、ぜったい障害者をほっていきません。みんなを助けてあげれば良いと思います。一人で助けられない人は、友達、先生をよんでくれば良いと思います。障害者は、毎日一人でなやみをかかえていて、つらいと思います。私に出来ることは、障害者を助けることです。障害者は、「だれかに助けてほしい」か「ほっといてほしい」のどちらかだと思います。たとえ「ほっといてほしい」と障害者が、言っていたとしても、ほっといたらいけないと思います。なぜなら、ほっておくと、ひきこもってしまったたり、最悪自殺してしまうこともあるかもしれないからです。なので障害者が何を言おうと私たちは、助けてあげ、ほっといてはいけません。いじめている方も気づいたら一番良いと思います。障害者の未来が幸せだと一番、私にとつてうれしいことだと私は、あらためてそうかんじました。私はいじめません。私は助けます。

障害者差別をなくすために

北条小学校

私は障害者を持っています。家でニュースを見ていると、障害者としてショックだな、と思ったことがあります。それは名古屋にある「レゴランド」のニュースのことです。レゴランドに行った家族全員が聴覚障害者を持っていました。そして、その家族が入場を拒否されたということです。私はそのニュースを見て、とてもショックでした。なぜ聴覚障害者を持っているだけで、入場を拒否されるのか、不思議でしょうがなかったです。聴覚障害者を持っていても楽しみたい気持ちはあるのに。私はそのニュースを見た時、思ったことがあります。それは、私は脳性マヒを持っているけれどレゴランドに行ったら入場を断られるのかなと思いました。もし、私が行っても断られなかったら、それもまた、私の中で不思議が生まれます。その不思議と私のは私も障害は違うけれど、障害者を持っていて家族は健常者と言うだけで入場を許可してくれたら不思議です。その理由は、同じ障害者を持っているという条件は同じなのに、家族が健常者だったら許可してくれるのかなと言うことです。私は、もしそれで入場を許可してくれたらそれも障害者差別になるのではないかと思います。私はその障害者差別を防止する方法は遊園地などの施設側が考える事だと思います。障害者によって入場を制限する事をなくし、どんな人でも楽しめる場所をたくさん作れば、障害者差別が少しでもなくなる道に近づけるのではないのでしょうか。

「これからの平和のために、自分にできること」

第五中学校

戦争で命をうばわれた人、家族をうばわれた人、夢をうばわれた人。私が少し新聞やテレビ番組を見ただけでもさまざまな悲しい経験をされた方々が多くいるようでした。戦争を経験した方々はたとえ自分の命が助かっていても心に大きな傷を負っていると思います。そして戦争がおわってしまえばすべてから解放されて幸せになるというわけではありません。一度起こった戦争は消えることなく悲しみの爪痕を残し続けます。

私は小学校六年生の頃に平和学習、修学旅行として原爆ドームや資料館などに行きました。そのときみた原爆ドームには迫力があり私は圧倒されました。でもそんなに遠くにいかなくても身近にもたくさんの方々の様子を物語るものがあることがわかりました。よく通るはずなのにじっくり見たことがなかった所そんな所にも平和についてしらべているうちに興味がわいて来ました。

私たちは戦争を経験していません。だからこそ世の中戦争を意識する夏、毎年のようにあるこの平和学習を大切にこれをきっかけにして戦争・平和についてじっくりと考えて目を向けるべきだと思います。

そしてここまでは「戦争」について考えて書きましたが次は「平和」について考えたいと思います。私は戦争がなければかならずしも平和というわけではないと思います。今の日本では人の心や体、命を傷つけるようなことをしている人がいます。それによって自ら命を絶つ人だっています。こんな世の中が平和かと聞かれると「平和です」と答える人はとても少ないと思うのです。今、中学生の私たちにいけばん起りやすい、軽い気持ちでやってしまう可能性が高いものそれは「いじめ」ではないでしょうか。もちろんそれだけというわけではありません。でも私はいじめではないかと思っています。いじめでは若い命が失われてしまうこともあります。このことに気づき私たち一人一人が相手の気持ちを考えることと行動、発言し手をさしのべることによって救われる命や築かれる平和があると思います。平和、戦争のことを考えるだけでなく身近なことだと思いい行動し、今あるすべての命が心穏やかに明日を迎えることのできる世の中こそが「平和」だと私は思います。

私の弟

第三中学校

私には三歳下の弟がいます。その弟の性格は私のほぼ真逆で、人見知りはいらないけど、すべての行動が雑です。

私はよく、弟にむかつく事があります。理由は貸した物を無くしたり、壊したり、生意気な態度をとられたりするからです。その度に私は弟に怒ります。すると弟は、

「ごめんなさい。もうしません。」

と、毎回涙を流しながら言います。初めは反省していると思いついていましたが、私は気づきました。弟は全く反省していません。反省しているふりをしていただけなんだと。弟は反省していませんので同じ事を何度何度も繰り返します。私は弟のこのような態度を見て、弟なんていなかったら良かった。こんな弟なんて嫌だと思いつがあります。

しかし、私には弟が必要です。そう感じたのは私が小学六年生の夏休みの時です。その年はいつも家族で行っている帰省に弟と二人で飛行機に乗って行くことになりました。私も弟も飛行機に乗ったことも子供だけで帰省をしたこともありませんでした。そんな私は不安だらけでした。そんな私が帰省に行けたのは弟がいたからです。弟はいつも明るく、笑顔で話かけてくれます。あの時もそうでした。不安だらけだった私にずっと笑顔で話かけてくれるので私の不安はしだいに小さくなっていきました。

私は弟のそういう所が好きです。弟のおかげで私は今までたくさんのことに挑戦することができたと思います。弟にむかつくことは毎日のようにあるし、弟なんていなかったら良かったと思う時があるけど、私は弟が大好きです。弟には本当に感謝しています。いつもはあまり面と向かっては言えないけど、

「いつもありがとう。」
と、しっかりと言いたいです。これからもずっと仲良く過ごしていきたいです。

「これからの平和のために、自分にできること」

第五中学校

私は初めて原爆についての詩集を読んだ。そしたら小学校などで話を聞くよりも本の方がとても怖さや残酷さが伝わってくる。原爆が落ちてからの様子が思い描かれていて、読んでいる時に鳥肌が立った。私が一番怖かったのは仮繻帯所にて一部の所「あなたたち泣いても涙のどころのない、わめいても言葉になる唇のない、もがこうにもつかむ手指の皮膚のないあなたたち」という所で鳥肌が一番立った。私はまさかそこまで思ったし、決して想像もできなかった。ただ読んでいる自分も怖すぎで思わず「うわ」と声を出してしまった。ほかにも自分の体の状態についてかいてある詩もあった。「からだが燃えている背中から突き倒した熱風が袖で肩で火になって煙のなかにつかむ」これを読んだ時、背中が焼えるってどんな熱さでどんな感覚なのか、たぶんたえきれない痛さや熱さで感覚がなくなつて苦しくても死ねなくずっとたえ続けていたと思う。私はそんなことがあつたら絶対たえきれない。とにかく生きぬいてきた人はすごいと思う。

きつと詩にはおさめきれない悲しさ、苦しみ、恐怖、残酷さ、痛み、熱さなどが心の中にずっとこれから生きていく中で消えない記憶が残っているだろう。今の日常がどれだけ良い環境でどれだけ幸せなのか詩一つだけでも知らされた。

「これからの平和のために、自分にできること」

第五中学校

私はインターネットで「NHK戦争証言アーカイブス」を見て戦争はもう二度と起きてほしくないと改めて思いました。

戦争は人々の心も体も傷つけるとも恐ろしいものだと思います。たくさんの方が命を失って、たくさんの方が亡くなって、私は戦争をしてなにか得になる人がいるんだろうか？と思いました。なのでこの世界から戦争がなくなつてほしいです。世界中、平和になればいいのになあと思います。今、世界のどこかでは貧しくて、食糧が得られなかったりとても大変な暮らしをしている人たちがいると思うと、私たちは今どれほど幸せなのかを感じます。なので今の日本のように平和な暮らしを世界中のどこでもしてほしいので募金活動など、協力できることはしたいと思いました。

私たちが今、平和についてできること、それは、戦争の過去を次の世代の人たちに伝えること。一人一人が平和について考えることだと思います。戦争をなくすことはできなくても、少しずつでも平和を築くことができると思うからです。

「これからの平和のために、自分にできること」

第五中学校

私は今回、豊中人権まちづくりセンターの「原爆の絵」というパネル展へ行きました。

学んだこと：やはり、もう二度と戦争をやってはいけないなと思いました。ふだん絶対に見えないような光景や、人々がかかれています。そんな光景や姿をまたくりかえしてはいけないと思いました。もし、それが日本ではないところだつて、同じです。

考えたこと：大体20〜30個ほどの絵だったけど、立ったまま骨になつたり、トラックに死体がのせられたりと色んな絵がありました。その絵を見ているだけで、そこにいるような気持ちになりました。すこし、気持ち悪くなつたりしたけど。助けを求めて足をつかんだ女性を振り回らつたりと見捨ててしまうような絵があつて、悲しいような気持ちになつたけど、その人も、けがをしたり、冷静な状況ではないことを見て、今まではそんなことがなかったようなほど、平和な世の中になつたんだと思ひました。だけど今でも原爆のことで苦しんでいる人がいたりするのを考えると、その人たちの力に、支えになりたいと思ひました。

平和への思い：平和つて言葉を調べると、それがなになのかを教えてください。この人にとつては、これは平和で逆にあの人にとつては平和じゃないかも知れない。そういうのを考えていると、平和と幸せは似ているのかも知れないと思ひました。幸せだから平和になつて、平和だから幸せになつて。でもやっぱり自分の幸せのために誰かの平和をうばつてしまつたり、だからそんなことがないように、誰かの平和や幸せをうばうような人を注意していききたいと思つた。もし、すぐには出来なくても、ゆつくりと時間かけていききたいし、自分も口だけで、すぐには出来ないと思ひけど、やらないよりはかはやる方がましだと思ひました。

一人一人が平和について、幸せについて考えることができたなら、戦争や核、原爆で苦しむ人達がいなくなつたのかもしれないと思ひました。昔おこつたことは絶対になくならないけど、これから先、おこらないようにすることは出来るんだと思ひました。





人権擁護宣言都市・とよなか

—平成31年（2019年）3月—

編集・発行

豊中市人権教育推進委員協議会
豊中市教育委員会